

# そよかぜ祭りが帰ってきます！

# そよかぜ祭り

## 第1部「ばあちゃん ビジネス」講演会

講師 「ばあちゃんビジネス」著者 大熊 充氏

町の“元気なじいちゃんやばあちゃん”が「何か」で輝ける地域を作れば、素晴らしいことになる。その「何か」を地域で探すのが「ばあちゃんビジネス」なのだろう。今の世の中、75歳までは現役で働きながら、75歳以上のじいちゃんばあちゃんたちがこの対象になる…。

原鶴温泉の隣町、うきは市で誕生した“うきはの宝株式会社”的社長がうきは市の高齢者を「宝もの」としてつくりあげた「ばあちゃんビジネス」。そのすべてを語っていただきます。

## 第2部 そよかぜ恒例 みんなで歌おう！

懐かしい昭和の歌、民謡をはじめ心に響く歌の数々を会場の皆さんで歌います。

コロナ禍以降、親しい方との語らいも、好きな歌をみんなで集まって歌うことも難しい時期もありました。そよかぜ祭りを再開したこの機会に、ホールで思いっきりみんなで歌いましょう！笑顔いっぱいの歌声を楽しみにしています♪



日時：令和7年12月20日(土)

開場：12時30分 入場無料

会場：さざんぴあ博多 2階ホール

福岡市博多区南本町2-3-1

親しい方と一緒にぜひご参加ください。  
チケット配布など、詳細が決まり次第、  
ポスターや配布物でお知らせします。  
お楽しみに！



【事務局】NPO法人地域福祉を支える会そよかぜ

TEL 092-502-7900

NPO法人



福岡市博多区銀天町1-6-12(銀天町商店街アーケード内)TEL: 092-502-7900

令和7年11月1日発行

臨時号 6-3  
通信

次回は  
12月1日発行予定

「敬老の日」に思う。

これからの元気高齢者はどう生きればいいのか…。

これを書いている今日は「敬老の日」です。私は88歳で「米寿」ですから、以前は町内の老人会からお祝いの品が届いていたのですが、今は高齢者が増えてそんなことしていたらお金がいくらあっても足りないと、取りやめになつていると聞きました。「長寿」がお祝いの対象ではなくなっていることが増えています。子や孫からの“おじいちゃん・おばあちゃん、ありがとう”という言葉を聞くことはずいぶん少なくなっています。5月の「母の日」に比べると「敬老の日」の地位はずいぶん下がつてしましました。

これから高齢者(特に元気な)はどう生きていけばいいのか、難しいことになる予感がします。体が弱って介護が必要になったとしても、周囲や家族からの「尊敬や慈愛に満ちた介護」を期待することが可能なのか、介護保険を使うにしても、俺は俺だ、私は私よ…では介護する人から嫌われて、気に入った介護を見つけるのは難しくなるでしょう。これからまだ少子高齢化の傾向は続きますから、今後高齢者はどう生きるかを考えないといけません。誰からも好かれるお年寄り、いつもニコニコで周囲みんながほっこりとするお年寄り…そういう生きざまに少しでも自分で近づく努力をしないと、俺は俺…などと我を張ついたら「どうぞ、ご勝手に…」とみんなから見捨てられる恐れがあります。それでいいのだ…という方はそれでいいとしても普通の高齢者はそうはいきません。特に男性高齢者の日常は、「夫源病」だとか「主人在宅ストレス症候群」などという呼べる方で、ひどい目に合う時代が来ています。いずれにしろ高齢を重ねる人々は孤立を深めるのですから、孤独な毎日を過ごすことがないように、誰からも大好きと慕われる高齢者になる努力が必要になるようです。

幸いにも「敬老の日」という「祭日」は、まだカレンダーに残っています。

これからの「敬老の日」は高齢者であるということだけで大事にされるのではなくて、どれだけ周囲の人々から慕われるか、これを高齢者みんなで競い合う日にしないといけないと  
思います。

(NPO法人 そよかぜ理事長／濱崎和久)



どなたでも困ったときは “NPO そよかぜサポート”

暮らしのお手伝い

炊事

掃除

買物

見守り

付添い

小修理

…など

1時間当たり  
1,750円 税込

困った時はお電話を！人の駅 TEL092-502-7900 (受付 17時まで 日・祭休み)